

FirstGlobal メッセージ

siesta

2018.1月号 vol.176

発行元：〒540-0012

大阪府中央区谷町1-6-4

天満橋八千代ビル10階

(株)ファーストグローバルコンサルティング

代表取締役

戦略人事コンサルタント 品川典久

TEL 06-6910-3007 FAX 06-6910-3008

Email shinagawa@1gc.jp

URL <http://www.1gc.jp>

今月のトピックス

自分が変わる靴磨きの習慣

今回は書籍のご紹介で「自分が変わる靴磨きの習慣」(長谷川裕也著・ポプラ社)です。トイレ掃除をしたら、整理整頓をしたら、早起きをしたら、人生が好転する、という類の書籍やセミナーなどを昔からよく見かけますし、小生も読んできました。これについては、眉唾的に「信じるかどうかは、私次第」とお感じの方も多いかもかもしれません。また、成功した人がやってきたことを公開しているだけで、「それ」をやったら、世の中の誰しもうまく成功するかどうかはわからないのが当然なので、小生も自身がやっていることを他人様にお薦めするのはあまりしないようにしています。この書籍にも、靴磨きを励行すれば、自己管理能力がアップし、「人生がうまくいく」的な表現もあります。これはこれで参考にはさせていただくのですが、間違いなく賛同できるのは、靴をきれいにしていて、損はない、ということです。「人は日々、足元で評価されている」という記述もありましたが、小生も実感していますし、みなさんも実感されていることかと思えます。実感されていない方もいらっしゃると思いますが、これは間違いありません。人は他人の足元を見ている。少なくとも私は見えています。新人研修の際は、新人さんにまずこれを伝えます。そしてできれば徐々に、でいいのでなるべく高い、いい靴を、と。私もサラリーマン時代はどうせすぐに履きジワから穴が開き、ダメになるので、なるべく高過ぎないモノを購入していました。案の定早い時期に履き潰していました。今はJ.M.WESTONというブランドの靴を四足交替で履いています。一足10万円以上しますが、ソールの交換を繰り返しながら、10年以上履き続けています。振り返ると結局安めのモノを買っていた頃と費用的にはあまり変わらないのでは、と感じます。日々の手入れについては、私もやっていますが、とにかく毎日履き終わったらブラッシングすることです。そして1ヵ月置きにメンテをすれば十分長持ちします。お薦めはエム・モップレイのクリームエッセンシャル、合成皮革でも塗った後に乾拭きすればピカピカになります。お試しあれ。

< next >

本革には先に汚れ落としとして、同じくエム・モップレイのステインリムーバーという液体がお薦めです。モノが目に見えてきれいになるということはやはり達成感味わえるので、結果的にはいいことなのでしょう、お掃除なども含めて。少々早いですが、身の回りをピカピカにして新しいよい年をお迎え下さい。